

平成23年度

県政世論調査



香川 県

は じ め に

この冊子は、県政に対する県民の皆さまの意見や要望をお聴きし、今後の施策に生かすため、平成23年6～7月に実施した「県政世論調査」の結果を取りまとめたものです。

今回は、「障害者福祉」、「外国人住民と共に暮らす香川づくりの実現」、「地方分権と広域連携」、「県政の重要度と満足度」について調査しました。

この調査結果を今後の県政運営に十分に活用するとともに、各方面でも幅広く活用されることを願っています。

なお、このたびの調査にご協力いただきました県民の皆さまをはじめ、関係市町の皆さまに厚くお礼申し上げます。

平成23年10月

香川県知事公室長 榎本 典昭

目 次

I	調査の概要	1
1.	調査目的	1
2.	調査項目	1
3.	調査設計	1
4.	回収状況	1
5.	サンプル設計	1
6.	報告書の見方	3
II	調査回答者の属性	5
III	調査の集計結果	9
1.	障害者福祉について	9
2.	外国人住民と共に暮らす香川づくりの実現について	39
3.	地方分権と広域連携について	74
4.	県政の重要度と満足度について	101
IV	数表	113
V	調査票(単純集計結果)	173

I 調査の概要

I 調査の概要

1. 調査目的

県政の諸問題について、県民の意見や要望等を把握し、今後の施策立案に際しての基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査項目

- (1) 障害者福祉について
- (2) 外国人住民と共に暮らす香川づくりの実現について
- (3) 地方分権と広域連携について
- (4) 県政の重要度と満足度について

3. 調査設計

- (1) 調査地域 香川県全域
- (2) 調査対象 満20歳以上の県民
- (3) 標本数 3,000
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- (5) 調査法 郵送法
- (6) 調査時期 平23年6月30日～7月19日

4. 回収状況

- (1) 標本数 3,000
- (2) 有効回収数 1,629 (54.3%)

5. サンプル設計

- (1) 母集団 香川県内の市町に居住する満20歳以上の県民
- (2) 標本数 3,000
- (3) 地点数 151地点 (市部:126地点、町部:25地点)
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法

〔 層 化 〕

県内の市町（8市9町）を次のように5圏域に分類した。

圏 域 名	構 成 市 町
1. 高松地域	高松市・三木町・直島町・綾川町
2. 東讃地域	さぬき市・東かがわ市
3. 小豆地域	土庄町・小豆島町
4. 中讃地域	丸亀市・坂出市・善通寺市・宇多津町・琴平町・多度津町・まんのう町
5. 西讃地域	観音寺市・三豊市

さらに、各圏域内を市町の規模によって

①高松市 ②高松市以外の市 ③町 に分類して、それぞれを層とした。

〔 標本数の配分 〕

各層における母集団数(平成23年3月2日現在の選挙人名簿登録者数)の大きさにより、3,000の標本数を比例配分した。

〔 抽 出 〕

- ① 第1次抽出単位となる調査地点として、平成23年3月2日現在の投票区を使用した。
- ② 調査地点数については、1調査地点あたりの標本数が20前後になるように、各層に割り当てられた標本数から算出して決定した。
- ③ 調査地点の抽出は、調査地点数が2地点以上割り当てられた層については、

$$\left[\frac{\text{層における選挙人名簿登録者数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔} \right]$$

を算出し、等間隔抽出法により該当番目が含まれる投票区を抽出した。

- ④ 抽出に際しての各層内における市町の配列順序は、総務省設定の市町村コードに従った。
- ⑤ 調査地点における対象者の抽出は、調査地点(投票区)内から選挙人名簿によって等間隔抽出法で抽出した。
- ⑥ 以上の結果、圏域別・市町規模別における標本数・調査地点数は次のとおりである。

〈 圏域別・市町規模別 標本数及び調査地点数 〉

上段：母集団数

下段：標本数、（ ）内は調査地点数

圏域 \ 市町別	高松市	高松市以外の市	町	計
1. 高松地域	344,313 1,245(62)		47,787 173(9)	392,100 1,418(71)
2. 東讃地域		74,407 269(13)		74,407 269(13)
3. 小豆地域			27,751 100(5)	27,751 100(5)
4. 中讃地域		165,274 598(30)	58,584 212(11)	223,858 810(41)
5. 西讃地域		111,350 403(21)		111,350 403(21)

6. 報告書の見方

- (1) 回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出し、少数第2位を四捨五入した。
このために、百分比の合計が100%にならないことがある。
- (2) グラフにおける「N」は、比率算出の基数であり、その比率は件数を100%として算出した。
- (3) 複数回答の設問の場合、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- (4) 調査対象者の職業別及び圏域別区分は次のとおりである。

◆職業別

農林漁業：農林漁業を営んでいる（家族従業者も含む）

商工業、サービス業、自由業など：商工業、サービス業、自由業などを営んでいる
（家族従業者も含む）

会社、商店、官公庁などに勤務：会社、商店、官公庁などに勤めている（パートも含む）

主婦・主夫：主婦・主夫（家族の中で家事が主な役割の方）

無職：無職（学生を含む）

◆圏域別

高松地域：高松市・三木町・直島町・綾川町

東讃地域：さぬき市・東かがわ市

小豆地域：土庄町・小豆島町

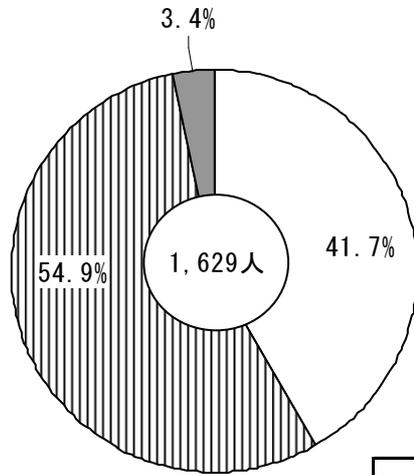
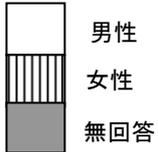
中讃地域：丸亀市・坂出市・善通寺市・宇多津町・琴平町・多度津町・まんのう町

西讃地域：観音寺市・三豊市

Ⅱ 調査回答者の属性

1. 性別

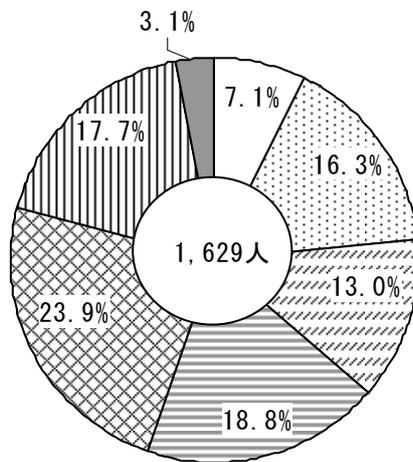
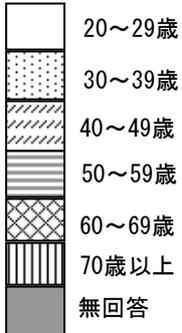
凡例



区 分	回答者数(人)	構成比(%)
1. 男性	680	41.7
2. 女性	894	54.9
(無回答)	55	3.4
合 計	1,629	100.0

2. 年齢

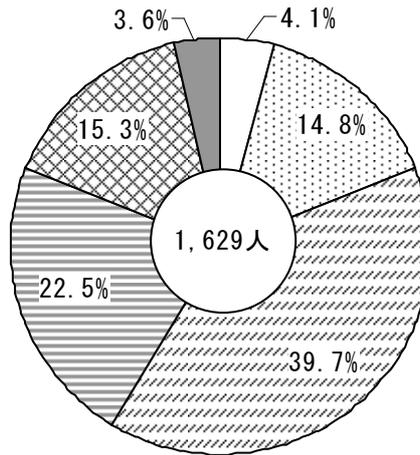
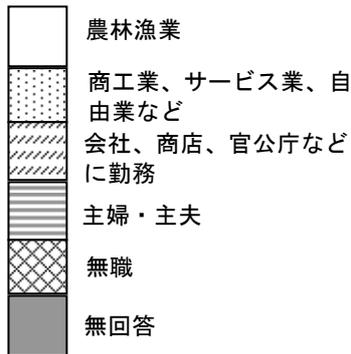
凡例



区 分	回答者数(人)	構成比(%)
1. 20~29歳	116	7.1
2. 30~39歳	266	16.3
3. 40~49歳	212	13.0
4. 50~59歳	307	18.8
5. 60~69歳	389	23.9
6. 70歳以上	288	17.7
(無回答)	51	3.1
合 計	1,629	100.0

3. 職業

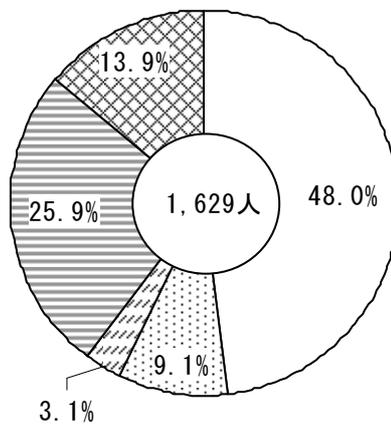
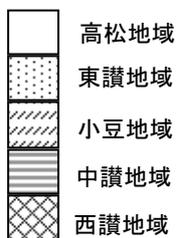
凡例



区 分	回答者数(人)	構成比(%)
1. 農林漁業	67	4.1
2. 商工業、サービス業、自由業など	241	14.8
3. 会社、商店、官公庁などに勤務	646	39.7
4. 主婦・主夫	366	22.5
5. 無職	250	15.3
(無回答)	59	3.6
合 計	1,629	100.0

4. 圏域

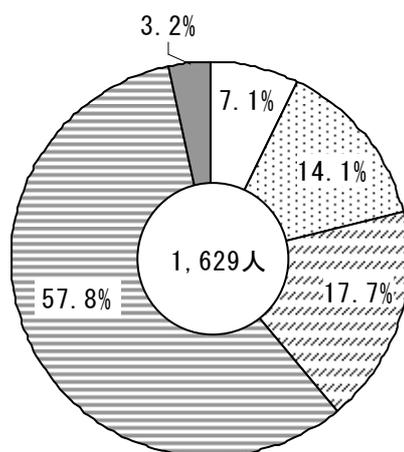
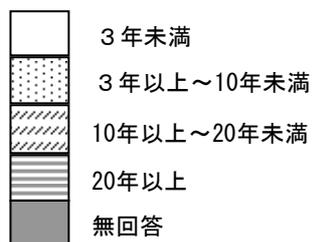
凡例



区 分	回答者数(人)	構成比(%)
1. 高松地域	782	48.0
2. 東讃地域	149	9.1
3. 小豆地域	50	3.1
4. 中讃地域	422	25.9
5. 西讃地域	226	13.9
合 計	1,629	100.0

5. 居住年数

凡例



区 分	回答者数(人)	構成比(%)
1. 3年未満	116	7.1
2. 3年以上～ 10年未満	230	14.1
3. 10年以上～ 20年未満	289	17.7
4. 20年以上	942	57.8
(無回答)	52	3.2
合 計	1,629	100.0